

長崎県幼児教育センターだより



No. 8



2024. 10. 15



幼保小連携を推進する会議が行われています！

各市町でも施設長・校長を対象に協議会を開催されているところもあるかと思いますが、先日、幼児教育センターに2市町から依頼があり、お話をする機会がありました。

西海市 幼・保・こ・小連携推進合同協議会

8月19日（月）於：大瀬戸町

協議では、各園・校の連携状況や今後の予定、課題について意見交換が行われました。保育・授業参観に相互が足を運ぶ、担任レベルでの交流をする等、前向きな議論をする姿が印象的でした。



平戸市 幼保小代表者連絡協議会

9月9日（月）於：田平町

協議では、「夏休みに小学校教諭全員が3回に分けて園を訪問し、保育参観、園からの説明を受けた」などの事例発表や職員同士の交流・情報交換に機会をいかに作るか等、「互いの教育・保育の理解」を深めるにはいつ何をするか、具体的な話が多かったです。



～ 令和5年度 実績幼保小連携実態調査結果 ～

県内全ての幼稚園、幼保連携型認定こども園、認可保育所を対象としてR5年度実績調査を行いました。対象施設566、回答数525、回答率92.8%でした。「小学校との交流回数が1回以上ある」と答えた施設が88.6%で、コロナ前に戻りつつあります。また、「子ども同士の交流へ向けた職員同士の事前または事後の協議の実施率」が63.2%でした。今後は、交流活動を行うのみではなく、互いにねらいをもった活動になるよう、各市町での幼保小連携を推進する会議等でも働きかけてまいります。

<小学校との交流について>	
実施なし	9.7%
年1回	33.3%
年2回以上	55.2%
年1回以上	88.6%
事前または事後に協議あり	<u>63.2%</u>

（文責：高田 敦）

～ お早目の訪問支援依頼を！ ～

幼児教育センターも2年目を迎え、また、「長崎県学ぶ保育士等応援事業」も始まり、今年度は訪問支援依頼数が大変多くなっております。通常、1か月前までに依頼をすることになっておりますが、予定が空いておらず、第2希望までに沿うことができない状況です。訪問依頼を考えている園がございましたら、2～3か月前、早めの申込みをお願いします。

～読書の取組、工夫しています！～

読書の秋にちなみ、前回のセンターだよりを引き続き、今回も様々な工夫ある読書の取組を行っている園のお声をご紹介します！

さつき幼稚園・比良幼保園の取組



- ・絵本コーナーを設置し、子どもが好きなときに自由に絵本を手にとることができる環境を整えている。
- ・年間を通して、園長オリジナルの創作紙芝居を読み聞かせたり、黒板やボードに絵を描きながらお話を展開する“絵話”をしたりしている。絵話は、子どものかけ声や反応に応じて絵やストーリーが変化するため、子どもは登場人物に声かけするなどしてお話に入り込んで楽しんでいる。「園長先生、またお話してね。」「今度は怪獣のお話にしてね。」と次のお話を楽しみにしている。
- ・園長と子どもで共有した“お話の世界”は、その時だけにとどまらず、クラス活動の中で、表現遊びや発表会のテーマとなり、登場人物になりきって演じたり、作品展でお話の世界を表現したりと味わったお話の世界が広がり、子どもの表現力や創作意欲の向上に繋がっている。また絵本コーナーで絵本を使い、園長の読み聞かせを真似て遊ぶ姿もあり、このような“お話の世界”を大切にしたい。

園長先生手作り紙芝居に子どもは夢中そうですね。味わったお話を日々の保育につなぐ取組もよいですね。

フォトセッション

これは、訪問支援で撮った1枚の写真です。4歳の男の子が、「すごいのできたんだよ。」と、私を作品のところに連れて行ってくれました。この子の言動や作品から、私はいろいろなことを思いました。

①この作品は、この子にとって「すごい」出来栄え。それを認めることが、この子の自己効力感あるいは自己有能感を高める。ここに保育者の一つの役割がある。

②作品は本当にすごい。こんな組合せは大人には決してまねできない。

③たくさんの積み木をこれだけ重ねて積み上げることは、手の巧緻性・集中力・粘り強さ・自由な発想力が必要。これまでの遊びの中でそれらを培ってきたのだろう。

④これだけのものを完成させるには、自由な遊びの時間が十分に保障されているのだろう。

⑤積み木にも様々な大きさ・色・形の種類がある。年齢に合った玩具がそろっていると、子どもはだんだん難しいことに自ら挑戦していく。

こんなふうに、1枚の写真から発想を広げて、気付きを話し合うだけでも園内研修ができます。そのような「フォトセッション」をすると、保育の視点が広がったり、考え方が深まったりします。それぞれの保育者の心が動いた場面を写真に撮り、それを使ってフォトセッションをしてみませんか？ なかなか楽しいですよ。



(センター長 室野)